



足元の株式市場について

2月24日および25日の2日間において、世界の株式市場は新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念から、ダウ工業株30種平均が▲6.6%、S&P500種指数が▲6.3%、独DAX指数が▲5.8%、英FTSE100指数が▲5.2%、TOPIX（2月21日から25日）が▲3.3%となるなど大幅に下落しました。新型コロナウイルスは、中国、日本、韓国などアジアでの感染ばかりでなく、イタリアやイランといった欧州、中東でも感染が報じられ、世界的な感染拡大が懸念されています。これを受け、企業の従業員在宅勤務の実施による企業活動の停滞、工場の閉鎖によるサプライチェーンの混乱など、企業活動への影響が懸念されるほか、消費者の不要不急の外出の自粛、各種イベントの中止などによる需要の減退も見込まれ、企業業績の悪化が懸念されたことにより、世界の株式市場は大幅に下落しました。

しかしながら、新型コロナウイルスは各種報道によると、①治療・療養が可能な疾病であること、②死者が出ているものの致死率は相対的に高いこと、③季節性のあるものであることから、感染拡大は早晚、収束していくものと考えられます。また、各国政府、各種団体、企業も感染拡大に対して対応を施しており、更なる感染拡大は抑えられるものと考えられます。

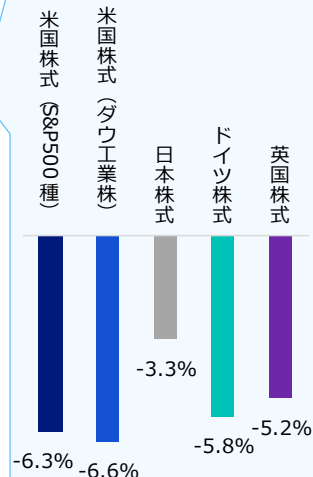
このように、一時的に経済を停滞させる要因となる一方で、今後感染拡大が収束していけば、時間の経過と共に経済活動は正常化して、企業業績は回復、それを織り込む形で株式市場も落ち着きを取り戻し、反転するものと考えられます。また、今般の株式市場の下落により、株価指数の予想株価収益率（PER）が低下するなど、世界の株式は相対的に割安な水準となっているとも考えられます。

世界の主要株式市場の推移と騰落率

（2018年12月31日～2020年2月25日、日次）



（2020年2月21日から2020年2月25日の騰落率）



出所：ブルームバーグ。

米国株式は、それぞれ：S&P500種指数、ダウ工業株30種、日本株式：TOPIX、ドイツ株式：DAX指数、英国株式：FTSE指数

※上記は過去のデータであり、将来の運用成果などをお約束するものではありません。

【当資料のお取り扱いにおけるご注意】本書は、情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。また、信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。本書に記載されたデータや記述等は過去の事実や実績を示したものであり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。本書で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と重要な差異が生じる可能性もあります。市場の見通しに関するコメントは、本書作成時における株式・マルチアセット部の見方を反映したものであり、将来の時点において予告なく変更される可能性があります。本書について事前の許可なく複製、引用、転載、転送を行うことを禁じます。